

■■ 令和元年7月24日（水） ■■

～つどーむ会場で熱戦！栄東パークゴルフ大会～



栄東連合町内会の会員相互の親睦と交流を図るため、7月24日、パークゴルフ大会がつどーむのパークゴルフ場で開催されました。

参加された方は、日ごろから腕を磨く、地区内の町内会員で42名（男性36名、女性6名）。早朝はあいにく雨でしたが、開始時には雨も上がり、永淵宏・連合町内会長の開会挨拶と園田幸信・青少年体育部長のルール説明ののち、競技を開始しました。

気温は低いものの皆さん真剣な表情で熱戦を繰り広げ、2時間余りで競技を終えました。

競技の結果、男性の部は山岡正幸さん（グロス106、ネット106）、女性の部は横田喜代子さん（グロス114、ネット117）が見事優勝されました。

このほか男性の部は10位まで、女性の部は5位まで表彰があり、ラッキー賞6組、ホールインワン2組、ブービー賞1組、敢闘賞1組が贈呈されています。

この大会は第18回目を迎えましたが、参加された皆さんは「来年こそは」と決意を新たに会場を後にされていました。

■■ 令和元年7月26日（金） ■■

～佐藤昌美・分区長、札幌地区防犯協会連合会・功労者に～

栄東地区で長きにわたり子どもたちの健全育成や見守り、青色回転装着車両従事者や地域安全活動推進委員として活躍されている連合町内会の佐藤昌美・第一分区長（栄南町内会会長）が、このほど、札幌地区防犯協会連合会の防犯功労者表彰を受賞されました。7月26日の同連合会令和元年度総会において、中山菊雄・同連合会会長から表彰状が授与されました。

佐藤分区長は、昭和51年から子ども会活動に尽力され、青少年育成委員も23年歴任されるなど、青少年の健全育成に大きな功労のある方です。

加えて、7年間にわたり青パト隊のパトロールや地域安全活動推進委員を務め、今なお活動中です。

今回の受賞を心からお祝いし、これまでの献身的な取り組みに感謝申し上げます。



■■ 令和元年7月26日（金） ■■

～無邪気な笑顔が広がるちびっ子なまつり～

子どもたちが心待ちの夏の一大イベントに

学校の夏休み初日、7月26日、栄東地区の子どもたちが心待ちにしている夏の風物詩・「ひのまるちびっ子なまつり」が開催されました。今年、第14回目を迎えるこのおまつりは、栄東地区子ども未来会議（永淵宏代表）・同まつり実行委員会（新井熟委員長）が主催し、民生委員・児童委員などが中心になって、連合町内会、青少年育成委員、児童会館、小学校、幼稚園、つどいむなどが連携協力し、創り上げた夏の一大イベントです。

出展したコーナーは、じゃんけんやタンバリン、あくしゅなどのコーナーを回る「お楽しみラリー」、折り紙で手づくりの金魚を釣る「金魚釣り」、紙細工の力士をのせた土俵をたたいて相手を倒す「トントン相撲」や「昔遊び」、数字の的にボールを当てる「ストラックアウト」、風船で動物などを創る「バルーンアート」など、“手づくり”で“素朴”な遊びばかり。それが逆に新鮮で、無邪気な子供たちの笑顔が会場いっぱいに溢れていました。



雨雲の動きから栄小開催にシフト

当日、7時過ぎからひのまる公園で会場設営をはじめましたが、雲行きが怪しくなり、インターネットの雨雲の動きから、9時ごろに会場を栄小学校体育館に移すことを決定しました。素早い変更決定と従事する各種団体が丸となって移動・設営作業を行い、10時の開会式にはセッティングを完了することができました。屋内での開催の例は少なく、水遊びのコーナーは中止しましたが、人気のヨーヨーは、帰りのお土産に活用し、子どもたちに喜ばれました。雨のため、例年より参加者数は少ないのですが、ボランティアをふくめて1,095人が1時間半余りの楽しいひとときを過ごしていました。



中高生ボランティアが大活躍

このおまつりは、ボランティアの多さが特徴です。今年は、中学生が41名、高校生が37名と各コーナーに分かれて主力メンバーとして大活躍しました。ボランティアというと大学生をイメージしますが、担い手の層がより若年層に広がっていると言えます。また、ひのまる児童会館や各小学校のミニ児童会館では、同会館に通う小学生などが運営し、長い行列にも一生懸命にコーナーの運営に頑張っていました。このほか、今年は、東15丁目屯田通りの災害復旧工事に従事する企業の皆さんも、会場準備や交通誘導を手伝いいただきました。

